

第2回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔女性票〕

(平成15年11月5日調査)

厚生労働省

地区番号					単位区番号				世帯番号			
出生年月	昭和		年		月生							

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成14年11月～15年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月～平成 年 月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含みます。

1 仕事についている

-----▶ 通学が主で仕事をしていませんか。

1 はい

2 いいえ

---▶ 補問2-1～2-6へお進みください

2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である ---▶ 補問2-1～2-6へ

3 仕事についていない ---▶ お進みください

1 家事に従事している

2 通学している

3 その他

---▶ 問4へお進みください

補問2-1 現在、複数の仕事(休業中の仕事も含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 ついている

2 ついていない

補問2-2～2-5は、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。また、休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

補問2-2 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	勤め先における呼称を基準にお答えください。 雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。 1 している 2 していない 3 わからない
2 自家営業の手伝い	
3 自宅で賃仕事（内職）	
4 正規の職員・従業員	
5 アルバイト	
6 パート	
7 労働者派遣事業所の派遣社員	
8 契約社員・嘱託	
9 その他	

補問2-3 従業者の数（会社や事業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

補問2-4 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

01 専門的・技術的な仕事	05 サービスの仕事	09 生産工程・労務作業の仕事
02 管理的な仕事	06 保安の仕事	10 その他の仕事
03 事務の仕事	07 農林漁業の仕事	
04 販売の仕事	08 運輸・通信の仕事	

補問2-5 現在の仕事についたのはいつですか。

1 昭和	2 平成		年		月
------	------	----------------------	---	----------------------	---

補問2-6 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1 週間の就業時間	通常		時間
1 週間の勤務日数	通常		日
1 日の通勤時間	通常片道（往き）		時間 分

※日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問3は会社等にお勤めの方（アルバイト、パート等も含む）のみお答えください。現在休業中の方も含みます。ただし、問2で「通学が主で仕事をしている」とお答えになった方はお答えいただく必要はありません。

問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類(注1)	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうで すか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。(注2))	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。(注2))	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等(注3) (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限(注4)	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限(注5)	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

注：1) これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含みません。

2) 「有給」とは、会社等からの給与の支給をいい、雇用保険からの育児休業給付や共済組合からの育児休業手当金の支給は含みません。

3) ここでいう「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、所定外労働の免除をいいます。

4) 「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年15.0時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。

5) 「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜（午後10時から午前5時まで）において労働させてはならない制度をいいます。

問4は問2で「通学が主で仕事をしている」あるいは「仕事についていない」とお答えになった方のみお答えください。

問4 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。

- 1 思っている -----> 補問4-1、4-2へお進みください
2 思っていない -----> 問5へお進みください

補問4-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 4 正規の職員・従業員 | 7 契約社員・嘱託 |
| 2 自家営業の手伝い | 5 アルバイト・パート | 8 その他 |
| 3 自宅での貸仕事(内職) | 6 労働者派遣事業所の派遣社員 | |

補問4-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問5は、すべての方がお答えください。

問5 あなたが学校を卒業(または中退)してから初めてついた所得を伴う仕事について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1 初めてついた仕事に現在もついている -----▶ 問8へお進みください |
| 2 初めてついた仕事に現在はついていない -----▶ 問6へお進みください |
| 3 学校を卒業(または中退)してから仕事についたことがない -----▶ 問8へお進みください |
| 4 これまでずっと学校に在学中である -----▶ 問8へお進みください |

問6は、問5で「初めてついた仕事に現在はついていない」とお答えになった方のみお答えください。

問6 現在ついている仕事以外に、あなたが学校を卒業してからついたすべての所得を伴う仕事について、その仕事についていた期間と就業形態をお答えください。

なお、同じ就業形態でもお勤めの会社等が変わった場合や、同じ会社等でも就業形態が変わった場合にはそれぞれについて記入してください。

また、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事について記入してください。

	仕事についていた期間 [仕事についた時期の早いものから順に記入してください。欄が足りない場合は、余白にご記入ください。]	就業形態 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)								
		会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での貸仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所派遣社員	契約社員・嘱託	その他
1 初めてついた仕事	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問7は、1年前についていた仕事をその後、辞めた方がお答えください。（現在、別の仕事についている方も含みます。）

問7 1年前（平成14年11月20日現在）についていた仕事をその後、辞めたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事についてお答えください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 01 自分の希望する仕事ではなかったから | 14 健康がすぐれなかったから |
| 02 能力・実績が正当に評価されなかったから | 15 家族の介護のため |
| 03 給与・報酬が少なかったから | 16 家族が転勤したから |
| 04 労働時間が長かった・休暇が少なかったから | 17 育児休業がとりにくかったから |
| 05 独立・起業のため | 18 会社から出向・転籍を命じられたから |
| 06 通勤時間が長かったから | 19 希望退職に応じたから |
| 07 転勤が多かったから | 20 倒産したから |
| 08 一時的・不安定な仕事だったから | 21 解雇されたから |
| 09 人間関係がうまくいかなかったから | 22 契約期間が満了したから |
| 10 会社の経営方針に不満を感じたから | 23 初めから短期のつもりだったから |
| 11 事業又は会社の将来に不安を感じたから | 24 新しい仕事が見つかったから |
| 12 結婚したから | 25 勉強のため |
| 13 出産・育児のため | 26 その他（ ） |

主なものの番号記入欄

問8～16は、すべての方がお答えください。

問8 働くことに対するあなたの考え方をおたずねします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1 生計を維持するため | 8 働くことが生きがい |
| 2 家計に余裕をもつため | 9 能力や専攻・資格を生かすため |
| 3 経済的に自立するため | 10 趣味・娯楽等の費用を得るため |
| 4 社会人の責任・義務 | 11 特別な意義はない |
| 5 社会に貢献するため | 12 わからない |
| 6 社会的に認められるため | 13 その他（ ） |
| 7 人間的な成長のため | |

主なものの番号記入欄

問9 あなたが最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|-------|
| 1 中学校 | 5 大学 |
| 2 高校 | 6 大学院 |
| 3 専門学校 | 7 その他 |
| 4 短大・高専 | |

- | | |
|---------------|---|
| 1 卒業 | → |
| 2 中退 | → |
| 3 在学中(休学等を含む) | |

卒業（または中退）された年月
1 昭和 2 平成
□ □ 年 □ □ 月

問10 現在配偶者はいますか。(なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。(以下の問についても同様です。))

1 いる ↓ 現在、配偶者と同居していますか。 1 同居している 2 同居していない	2 いない -----> 同居している異性の恋人はいますか。 1 いる 2 いない
--	--

補問10-1 この1年間(平成14年11月～平成15年10月)に、次のようなできごとはありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 なお、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含まれます。

1 結婚した -----> 2 離婚した 3 配偶者と死別した 4 上記1～3のようなことはなかった	配偶者の生年月 昭和 年 月生 同居を開始した年月 平成 年 月
---	--

問11 あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんも含めた人数を記入してください。

人

問12 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

人 (ご本人は含みません)

問13 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。(配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。)

(1) あなたの父親	1 同居 2 別居 3 死別	(3) 配偶者の父親	1 同居 2 別居 3 死別
(2) あなたの母親	1 同居 2 別居 3 死別	(4) 配偶者の母親	1 同居 2 別居 3 死別

問14 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平 日	時間	分	休 日	時間	分
-----	---	--	-----	---	--

問15 あなたは、平成14年1年間に何らかの所得がありましたか。

----- 1 あり 2 なし -----▶ 問16へお進みください

補問15-1 あなた自身が平成14年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

働いて得た所得 あなたが配偶者を含む他の家族と同一事業に従事している等の理由により、あなたと他の家族の所得とを区別することが困難な場合には、合算した金額を記入してください。	1 あり ----▶ 金額 万円 2 なし ----▶ 合算の有無 1 合算していない（本人のみ） 合算している 2 配偶者のみと合算 3 配偶者やその他の家族と合算
その他の所得 親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。	1 あり ----▶ 金額 万円 2 なし 児童手当受給の有無 1 あり 2 なし

注 1万円未満は四捨五入してください。

問16 あなた（現在配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が平成15年10月中に支出した額を下欄に記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。	(1) 支出額 (2)、(3)を含む	万 千円	注1：支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。 注2：千円未満は四捨五入してください。
	(2) うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり 2 なし 万 千円	
	(3) うち、お子さんの教育費 (幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり 2 なし 万 千円	
	(4) 他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない	

お子さんがいらっしゃる方については質問は終了です。
10頁の自由記載欄へお進みください。

問17は、お子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

問17 お子さんについてお答えください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

すべてのお子さんについてお答えください。				小学校入学前のお子さんについてお答えください。																	
性別	出生年月	同居の別	現在の放課後児童（児童）クラブの利用の有無	現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。								現在、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。									
				認可保育所（園）	事業所内託児施設	認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園（預かり保育を除く）	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他（友人・知人等）	いない（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます）	
第1子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 [] 年 [] 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第2子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 [] 年 [] 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第3子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 [] 年 [] 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第4子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 [] 年 [] 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第5子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 [] 年 [] 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第6子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 [] 年 [] 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問18～19はこの1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

問18 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類（注1）	現在お勤めの会社等での利用（注5）	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等（注2）（残業の免除はこちらに含まれます。）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限（注3）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限（注4）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問18-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

注：1）これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含まれません。

2）ここでいう「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げや、所定外労働をさせない制度をいいます。

3）「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。

4）「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜（午後10時から午前5時まで）において労働させてはならない制度をいいます。

5）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問19 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ… 日
2 休んでいない

どのような休暇を取りましたか。それぞれの休暇等についてあてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等での利用	以前にお勤めの会社等での利用
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための制度休暇	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、**まとまり次第**
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、**みなさまにとって身近な課題**に
取り組んでいくための**重要な基礎資料**とさせていただきますので、
今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

厚生労働省から調査票の内容や調査に関してご連絡申し上げますことでもありますので、
よろしければ、**ご自宅の電話番号**（携帯電話でも結構です。）及び**E-mailアドレス**を
記入していただきますようお願いします。

電話番号

E-mailアドレス

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課国民生活基礎調査室
電話 (03) 3595-2974
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

第2回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔男性票〕

(平成15年11月5日調査)

厚生労働省

地区番号		単位区番号		世帯番号	
出生年月	昭和		年		月生

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成14年11月～15年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した

2 病気やケガの治療のため入院した

平成 年 月～平成 年 月

3 上記1、2のようなことはなかった

問2 現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている

→ 通学が主で仕事をしていませんか。

1 はい

2 いいえ

→ 補問2-1～2-6へお進みください

2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である → 補問2-1～2-6へ

3 仕事についていない

お進みください

1 家事に従事している

2 通学している

3 その他

→ 問4へお進みください

補問2-1 現在、複数の仕事(休業中の仕事も含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 ついている

2 ついていない

補問 2-2～2-5 は、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。また、休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。

補問 2-2 それはどのような形態ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主 2 自家営業の手伝い 3 自宅で賃仕事（内職） 4 正規の職員・従業員 5 アルバイト 6 パート 7 労働者派遣事業所の派遣社員 8 契約社員・嘱託 9 その他	勤め先における呼称を基準にお答えください。 雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。 1 している 2 していない 3 わからない
--	---

補問 2-3 従業者の数（会社や事業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

補問 2-4 どのような職業ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

01 専門的・技術的な仕事	05 サービスの仕事	09 生産工程・労務作業の仕事
02 管理的な仕事	06 保安の仕事	10 その他の仕事
03 事務の仕事	07 農林漁業の仕事	
04 販売の仕事	08 運輸・通信の仕事	

補問 2-5 現在の仕事についたのはいつですか。

1 昭和	2 平成	年 月
------	------	---

補問 2-6 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1 週間の就業時間	通常	時間
1 週間の勤務日数	通常	日
1 日の通勤時間	通常片道（往き）	時間 分

※日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した 1 日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問3は会社等にお勤めの方（アルバイト、パート等も含む）のみお答えください。現在休業中の方も含まれます。ただし、問2で「通学が主で仕事をしている」とお答えになった方はお答えいただく必要はありません。

問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等でああなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類(注1)	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうで すか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。(注2))	1 ある-----▶ 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。(注2))	1 ある-----▶ 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等(注3) (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある-----▶ 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限(注4)	1 ある-----▶ 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限(注5)	1 ある-----▶ 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある-----▶ 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

注：1）これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含まれません。

2）「有給」とは、会社等からの給与の支給をいい、雇用保険からの育児休業給付や共済組合からの育児休業手当金の支給は含まれません。

3）ここでの「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、所定外労働の免除をいいます。

4）「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。

5）「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜（午後10時から午前5時まで）において労働させてはならない制度をいいます。

問4は問2で「通学が主で仕事をしている」あるいは「仕事についていない」とお答えになった方のみお答えください。

問4 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。

- 1 思っている -----▶ 補問4-1、4-2へお進みください
2 思っていない -----▶ 問5へお進みください

補問4-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 4 正規の職員・従業員 | 7 契約社員・嘱託 |
| 2 自家営業の手伝い | 5 アルバイト・パート | 8 その他 |
| 3 自宅での貸仕事(内職) | 6 労働者派遣事業所の派遣社員 | |

補問4-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問5は、すべての方がお答えください。

問5 あなたが学校を卒業(または中退)してから初めてついた所得を伴う仕事について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 初めてついた仕事に現在もついている | -----▶ 問8へお進みください |
| 2 初めてついた仕事に現在はついていない | -----▶ 問6へお進みください |
| 3 学校を卒業(または中退)してから仕事についたことがない | -----▶ 問8へお進みください |
| 4 これまでずっと学校に在学中である | -----▶ 問8へお進みください |

問6は、問5で「初めてついた仕事に現在はついていない」とお答えになった方のみお答えください。

問6 現在ついている仕事以外に、あなたが学校を卒業してからついたすべての所得を伴う仕事について、その仕事についていた期間と就業形態をお答えください。

なお、同じ就業形態でもお勤めの会社等が変わった場合や、同じ会社等でも就業形態が変わった場合にはそれぞれについて記入してください。

また、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事について記入してください。

	仕事についていた期間 [仕事についた時期の早いものから順に記入してください。欄が足りない場合は、余白にご記入ください。]	就業形態 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)								
		会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での貸仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所派遣社員	契約社員・嘱託	その他
1 初めてついた仕事	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8	1 昭和 年 月 ~ 2 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問7は、1年前についていた仕事をその後、辞めた方がお答えください。（現在、別の仕事についている方も含みます。）

問7 1年前（平成14年11月20日現在）についていた仕事をその後、辞めたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事についてお答えください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 01 自分の希望する仕事ではなかったから | 14 健康がすぐれなかったから |
| 02 能力・実績が正当に評価されなかったから | 15 家族の介護のため |
| 03 給与・報酬が少なかったから | 16 家族が転勤したから |
| 04 労働時間が長かった・休暇が少なかったから | 17 育児休業がとりにくかったから |
| 05 独立・起業のため | 18 会社から出向・転籍を命じられたから |
| 06 通勤時間が長かったから | 19 希望退職に応じたから |
| 07 転勤が多かったから | 20 倒産したから |
| 08 一時的・不安定な仕事だったから | 21 解雇されたから |
| 09 人間関係がうまくいかなかったから | 22 契約期間が満了したから |
| 10 会社の経営方針に不満を感じたから | 23 初めから短期のつもりだったから |
| 11 事業又は会社の将来に不安を感じたから | 24 新しい仕事がみつかったから |
| 12 結婚したから | 25 勉強のため |
| 13 出産・育児のため | 26 その他（ ） |

主なものの番号記入欄

問8～13は、すべての方がお答えください。

問8 働くことに対するあなたの考え方を教えてください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1 生計を維持するため | 8 働くことが生きがい |
| 2 家計に余裕をもつため | 9 能力や専攻・資格を生かすため |
| 3 経済的に自立するため | 10 趣味・娯楽等の費用を得るため |
| 4 社会人の責任・義務 | 11 特別な意義はない |
| 5 社会に貢献するため | 12 わからない |
| 6 社会的に認められるため | 13 その他（ ） |
| 7 人間的な成長のため | |

主なものの番号記入欄

問9 あなたが最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|-------|
| 1 中学校 | 5 大学 |
| 2 高校 | 6 大学院 |
| 3 専門学校 | 7 その他 |
| 4 短大・高专 | |

- | | |
|---------------|---|
| 1 卒業 | → |
| 2 中退 | |
| 3 在学中(休学等を含む) | |

卒業（または中退）された年月
1 昭和 2 平成
□ □ 年 □ □ 月

問10 現在配偶者はいますか。(なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。(以下の問についても同様です。))

1 いる	2 いない	同居している異性の恋人はいますか。
↓ 現在、配偶者と同居していますか。		1 いる 2 いない
1 同居している 2 同居していない		

補問10-1 この1年間(平成14年11月～平成15年10月)に、次のようなできごとはありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
なお、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1 結婚した	配偶者の生年月	昭和		年		月生
2 離婚した	同居を開始した年月	平成		年		月
3 配偶者と死別した						
4 上記1～3のようなことはなかった						

問11 あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんも含めた人数を記入してください。

	人
----------------------	---

問12 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	----------------------	----	----------------------	---	----	----------------------	----	----------------------	---

問13 あなたは、平成14年1年間に何らかの所得がありましたか。

1 あり	2 なし	問14へお進みください
------	------	-------------

補問13-1 あなた自身が平成14年1年間に働いて得た所得(税込み)及びその他の所得についてお答えください。

働いて得た所得 あなたが配偶者を含む他の家族と同一事業に従事している等の理由により、あなたと他の家族の所得とを区別することが困難な場合には、合算した金額を記入してください。	1 あり → 金額 万円 2 なし → 合算の有無 1 合算していない(本人のみ) 合算している 2 配偶者のみと合算 3 配偶者やその他の家族と合算
その他の所得 親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。	1 あり → 金額 万円 2 なし → 児童手当受給の有無 1 あり 2 なし

注 1万円未満は四捨五入してください。

問14～16は配偶者のいない方又は配偶者と別居している方のみお答えください。

問14 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
--	--------------

問15 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。）

(1) あなたの父親	1 同居 2 別居 3 死別	(3) 配偶者の父親	1 同居 2 別居 3 死別
(2) あなたの母親	1 同居 2 別居 3 死別	(4) 配偶者の母親	1 同居 2 別居 3 死別

問16 あなたが平成15年10月中に支出した額を下欄に記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからな 相談して い場合 は家族 の方と お答え ください。	(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)		万		千円	注1：支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。 注2：千円未満は四捨五入してください。			
	(2) うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり	2 なし				万		千円
	(3) うち、お子さんの教育費 (幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり	2 なし				万		千円
	(4) 他の家族の支出との区別	1 できる	2 できない						

お子さんがいらっしゃる方については質問は終了です。
10頁の自由記載欄へお進みください。

問17は、配偶者のいない方又は配偶者と別居している方で、お子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

問17 お子さんについてお答えください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

すべてのお子さんについてお答えください。				小学校入学前のお子さんについてお答えください。																
性別	出生年月	同別居の別	現在の放課後児童（学童）クラブの利用の有無	現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。								現在、平日の日中に世話をしているご家族等とはどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。								
				認可保育所（園）	事業所内託児施設	認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園（預かり保育を除く）	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他（友人・知人等）	いない（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。）
第1子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 1 あり 2 別居 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第2子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 1 あり 2 別居 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第3子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 1 あり 2 別居 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第4子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 1 あり 2 別居 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第5子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 1 あり 2 別居 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第6子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 1 あり 2 別居 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問18～19はこの1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

問18 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類（注1）	現在お勤めの会社等での利用（注5）	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等（注2）（残業の免除はこちらに含まれます。）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限（注3）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限（注4）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問18-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

- 注：1）これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含まれません。
 2）ここでいう「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げや、所定外労働をさせない制度をいいます。
 3）「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。
 4）「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜（午後10時から午前5時まで）において労働させてはならない制度をいいます。
 5）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問19 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ→ 日
2 休んでいない

どのような休暇を取りましたか。それぞれの休暇等についてあてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等での利用	以前にお勤めの会社等での利用
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための制度休暇	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、**まとめ次第**
皆さまのもとに**お届けします**。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な**基礎資料**とさせていただきますので、
今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

厚生労働省から調査票の内容や調査に関してご連絡申し上げることもありますので、
よろしければ、ご自宅の電話番号（携帯電話でも結構です。）及びE-mailアドレスを
記入していただきますようお願いします。

電話番号

E-mailアドレス

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課国民生活基礎調査室
電話 (03) 3595-2974
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

第2回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（女性用）〕
(平成15年11月5日調査)

厚生労働省

地区番号					単位区番号			世帯番号		
出生年月		昭和		年		月	生			

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間（平成14年11月～15年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

- 1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
- 2 病気やケガの治療のため入院した
平成 年 月～平成 年 月
- 3 上記1、2のようなことはなかった

問2 現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

- 1 仕事についている
 - 2 仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である
 - 3 仕事についていない
- 補問2-1、2-2へお進みください
- 1 家事に従事している
2 通学している
3 その他
- 問4へお進みください

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 6 パート |
| 2 自家営業の手伝い | 7 労働者派遣事業所の派遣社員 |
| 3 自宅で貸仕事（内職） | 8 契約社員・嘱託 |
| 4 正規の職員・従業員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト | |

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問 2-2 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1 週間の就業時間	通常		時間
1 週間の勤務日数	通常		日
1 日の通勤時間	通常片道 (往き)		時間 分

※日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問 3 は会社等にお勤めの方 (アルバイト、パート等も含む) のみお答えください。現在休業中の方も含みます。ただし、通学が主で仕事をしている方はお答えいただく必要はありません。

問 3 あなたの勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等でああなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類 (注1)	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。(注2))	1 ある-----> 1 有給 2 ない-----> 2 無給 3 わからない-----> 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。(注2))	1 ある-----> 1 有給 2 ない-----> 2 無給 3 わからない-----> 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (注3) (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある-----> 2 ない-----> 3 わからない----->	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限 (注4)	1 ある-----> 2 ない-----> 3 わからない----->	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限 (注5)	1 ある-----> 2 ない-----> 3 わからない----->	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある-----> 2 ない-----> 3 わからない----->	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

注：1) これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含みません。

2) 「有給」とは、会社等からの給与の支給をいい、雇用保険からの育児休業給付や共済組合からの育児休業手当金の支給は含みません。

3) ここでいう「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、所定外労働の免除をいいます。

4) 「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。

5) 「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜 (午後10時から午前5時まで) において労働させてはならない制度をいいます。

問4～問10は、すべての方がお答えください。

問4 あなたが最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 中学校	5 大学	→	1 卒業
2 高校	6 大学院		2 中退
3 専門学校	7 その他		3 在学中（休学等を含む）
4 短大・高専			

問5 あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんも含めた人数を記入してください。

	人
----------------------	---

問6 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
----------------------	--------------

問7 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1) あなたの父親	1 同居 2 別居 3 死別	(3) 配偶者の父親	1 同居 2 別居 3 死別
(2) あなたの母親	1 同居 2 別居 3 死別	(4) 配偶者の母親	1 同居 2 別居 3 死別

問8 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	時間 分	休日	時間 分
----	--	----	--

問9 あなたは、平成14年1年間に何らかの所得がありましたか。

1 あり 2 なし -----> 問10へお進みください

補問9-1 あなた自身が平成14年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

働いて得た所得 あなたが配偶者を含む他の家族と同一事業に従事している等の理由により、あなたと他の家族の所得とを区別することが困難な場合には、合算した金額を記入してください。	1 あり ----> 金額 万円
	2 なし -----> 合算の有無 1 合算していない（本人のみ） 合算している 2 配偶者のみと合算 3 配偶者やその他の家族と合算
その他の所得 親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。	1 あり ----> 金額 万円
	2 なし -----> 児童手当受給の有無 1 あり 2 なし

注 1万円未満は四捨五入してください。

問10 あなた及び配偶者が平成15年10月中に支出した額を下欄に記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。	(1) 支出額 ((2)、(3)を含む)	万 千円	注1：支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。 注2：千円未満は四捨五入してください。
	(2) うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり 2 なし 万 千円	
	(3) うち、お子さんの教育費 (幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり 2 なし 万 千円	
	(4) 他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない	

お子さんがいらっしゃる方については質問は終了です。
 7頁の自由記載欄へお進みください。

問11は、お子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

問11 お子さんについてお答えください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

すべてのお子さんについてお答えください。				小学校入学前のお子さんについてお答えください。																	
性 別	出生 年月	同 居 の 別	現在の放課後児童（学童）クラブの利用の有無	現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。										現在、平日の日中に世話をしているご家族等とはどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。							
				認可保育所（園）	事業所内託児施設	認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園（預かり保育を除く）	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他（友人・知人等）	いない（場合はこちらに含まれます。）	
第1子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第2子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第3子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第4子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第5子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
第6子	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問12～13はこの1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

問12 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類（注1）	現在お勤めの会社等での利用（注5）	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等（注2）（残業の免除はこちらに含まれます。）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限（注3）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限（注4）	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問12-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

注：1）これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含まれません。

2）ここでいう「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げや、所定外労働をさせない制度をいいます。

3）「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。

4）「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜（午後10時から午前5時まで）において労働させてはならない制度をいいます。

5）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問13 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ → 日
2 休んでいない

どのような休暇を取りましたか。それぞれの休暇等についてあてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等での利用	以前にお勤めの会社等での利用
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための制度休暇	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、
今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

厚生労働省から調査票の内容や調査に関してご連絡申し上げることもありますので、
よろしければ、ご自宅の電話番号（携帯電話でも結構です。）及びE-mailアドレスを
記入していただきますようお願いします。

電話番号

E-mailアドレス

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課国民生活基礎調査室

電話 (03) 3595-2974

Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

第2回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（男性用）〕

(平成15年11月5日調査)

厚生労働省

地区番号					単位区番号			世帯番号		
出生年月	昭和			年			月生			

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。

お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間（平成14年11月～15年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

- 1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
- 2 病気やケガの治療のため入院した
平成 年 月～平成 年 月
- 3 上記1、2のようなことはなかった

問2 現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

- 1 仕事についている
- 2 仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である → 補問2-1、2-2へお進みください
- 3 仕事についていない
 - 1 家事に従事している
 - 2 通学している → 問4へお進みください
 - 3 その他

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 6 パート |
| 2 自家営業の手伝い | 7 労働者派遣事業所の派遣社員 |
| 3 自宅で賃仕事（内職） | 8 契約社員・嘱託 |
| 4 正規の職員・従業員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト | |

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間	通常		時間
1週間の勤務日数	通常		日
1日の通勤時間	通常片道（往き）		時間 分

※日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問3 は会社等にお勤めの方（アルバイト、パート等も含む）のみお答えください。現在休業中の方も含みます。ただし、通学が主で仕事をしている方はお答えいただく必要はありません。

問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類（注1）	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうで すか。
(1) 育児休業制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。（注2））	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。（注2））	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等（注3） （残業の免除は、こちらに含まれます。）	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限（注4）	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限（注5）	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある-----> 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

注：1）これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含まれません。

2）「有給」とは、会社等からの給与の支給をいい、雇用保険からの育児休業給付や共済組合からの育児休業手当金の支給は含まれません。

3）ここでいう「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ、所定外労働の免除をいいます。

4）「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。

5）「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜（午後10時から午前5時まで）において労働させてはならない制度をいいます。

問4～問7は、すべての方がお答えください。

問4 あなたが最後に卒業（または中退）された、あるいは在学中の学校はどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 中学校	5 大学	→	1 卒業
2 高校	6 大学院		2 中退
3 専門学校	7 その他		3 在学中（休学等を含む）
4 短大・高専			

問5 あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんも含めた人数を記入してください。

	人
--	---

問6 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日		時間		分	休日		時間		分
----	--	----	--	---	----	--	----	--	---

問7 あなたは、平成14年1年間に何らかの所得がありましたか。

1 あり	2 なし → 問8へお進みください	ただし、お子さんがいらっしゃる方については質問は終了です。5頁の自由記載欄へお進みください。

補問7-1 あなた自身が平成14年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

働いて得た所得 あなたが配偶者を含む他の家族と同一事業に従事している等の理由により、あなたと他の家族の所得とを区別することが困難な場合には、合算した金額を記入してください。	1 あり → 金額 万円 2 なし → 合算の有無 1 合算していない（本人のみ） 合算している 2 配偶者のみと合算 3 配偶者やその他の家族と合算
その他の所得 親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。	1 あり → 金額 万円 2 なし 児童手当受給の有無 1 あり 2 なし

注 1万円未満は四捨五入してください。

お子さんがいらっしゃらない方については質問は終了です。
5頁の自由記載欄へお進みください。

問8～9はこの1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

問8 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類（注1）	現在お勤めの会社等での利用（注5）	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等（注2）（残業の免除はこちらに含まれます。）	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限（注3）	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限（注4）	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり	1 あり
	2 なし	2 なし

補問8-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

- 注：1）これらの制度等には、労働基準法で規定されている産前産後休業や育児時間は含みません。
 2）ここでいう「育児のための勤務時間の短縮等」とは、短時間勤務制度、フレックスタイム制、始業・終業時刻の繰上げ・繰下げや、所定外労働をさせない制度をいいます。
 3）「育児のための時間外労働の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、1か月24時間、1年150時間を超える時間外労働をさせてはならない制度をいいます。
 4）「育児のための深夜業の制限」とは、育児を行う労働者が請求した場合、深夜（午後10時から午前5時まで）において労働させてはならない制度をいいます。
 5）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問9 この1年間（平成14年11月～平成15年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ---- 日 ----
2 休んでいない

どのような休暇を取りましたか。それぞれの休暇等についてあてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等での利用	以前にお勤めの会社等での利用
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための制度休暇	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、**まとめ次第**
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための**重要な基礎資料**とさせていただきますの
で、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

厚生労働省から調査票の内容や調査に関してご連絡申し上げることもありますので、
よろしければ、ご自宅の電話番号（携帯電話でも結構です。）及びE-mailアドレスを
記入していただきますようお願いします。

電話番号

E-mailアドレス

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課国民生活基礎調査室
電話 (03) 3595-2974
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp